



生活習慣病の予防や健康寿命の延伸は、我が国を含む多くの国々に共通する世界的な課題の一つです。「食」は人間の健康を左右する最も重要な因子の一つとなっており、善と悪の二面性を有しています。食品生化学研究室では、この「食品」が持つ二面性について、ヒトiPS細胞や遺伝子改変マウスなどの動物モデル等の最先端の研究ツールを利用しながら、代謝恒常性の維持や破綻の分子メカニズムを探求すると同時に、食品の持つ有益な機能を探索しています。さらに、これらの成果を社会に還元し、「食」の力を活用することで生活習慣病の予防や健康寿命の延伸が実現可能な社会の実現を目指しています。